

大会本部運営マニュアル

1. 会場の準備について

(1) グラウンドの準備

第1試合目の両チームが、第1試合目開始の90分前に集合するとともに準備(ゴールの設置、ライン引き等)を開始し、第1試合目開始の30分前に準備を完了する。

(2) 本部の準備

本部担当チーム及び第1試合の両チームが準備を行い、第1試合目開始の30分前までに完了する。本部備品は本部担当チームが用意し、テント、机、椅子、筆記用具を最低限準備する。また、審判への飲料を準備することが望ましい。

(3) チームベンチの準備

チームベンチ及びテント等は、各チームの持ち寄りとするが、本部担当チームがチームベンチの設置場所を明確に決定する。

2. 試合前の運営について

(1) 入場制限について

ピッチ上に入れるのは、大会役員、チーム関係者(選手登録用紙に記載されている役員及び選手)、協会関係者及び報道関係者とする。また、チームベンチに入れるのは、チーム関係者のみとする。

(2) 試合前のW-upについて

ピッチ上のW-upは、試合開始25分前から10分間。第2試合以降についても同様(本部が計測)
ピッチ外のW-upは、各チームが良識ある判断を持って行うこと。但し、W-upできる場所が限られている場合は、各チームが公平さ考慮するとともに、次試合のチームのW-upを優先させ、練習等は控えること。

(3) マネージャーズミーティングについて

キックオフ30分前に本部担当チームの指定する場所で行う。

(4) 出場選手の確認について

両チームは、マネージャーズミーティング時に『メンバー表』を2部提出する。『メンバー表』の先発登録に先発選手11名に○を付け、当該試合に登録しない選手には抹消線を付ける。また、本部担当チームは、マネージャーズミーティング時に、両チームの前試合までの退場選手及び警告選手を確認し今試合に出場可能か確認する。退場した場合と警告を2回受けた場合は自動的に次の1試合に出場できない。また、一発退場の場合は、それ以降の処置を大会規律委員会で決定する。

(5) 試合球について

試合球は、両チーム1個ずつの持ち寄りとする。但し、原則として程度のよいボール(新しいボールが望ましい)を準備すること。

3. 試合中の運営について～選手入場から退場まで～

(1) チームベンチの管理について

ベンチ入りする役員及び選手は、プレーヤーと判別しやすいようにビブス等を着用するとともに、チーム役員の喫煙や選手の服装の乱れを注意する。

ベンチからの指示については、2人以上同時に指示をすることや指示が終わっても立ち上がったままの場合は注意する。従わない場合は、主審に通告し、悪質な場合は主審の判断により退場となる。

ベンチからの応援については、鳴り物等の使用は禁止とする。

試合終了後は、役員、選手ともにマナーを守るとともに、速やかに次試合のためにベンチを空ける。

(2) 観客のマナー管理について

観客又は応援者のマナーが悪いとき(選手や審判への暴言、飲酒等)には、厳しく対応すること。本部担当者がベンチのチーム役員に伝え、チーム役員が観客の指導を行う。それでも改善されない場合は、審判により当該する観客は退場となる。また、あまりにも不道德な場合には、チームに罰則が科せられる場合もある。

(3) 選手の確認について

登録選手は、各自の写真付き選手証(選手証が届いていない場合には、WEB登録時の選手一覧の写しをチームで1部提出する)を持って、試合開始7分前に本部前に集合し、審判員とともに先発選手の選手登録事項の確認(背番号順に整列し、氏名を名乗らせて確認)と用具類の確認を行う。特に、装身具の類はヘアバンドを除いては身につけることはできないので十分に確認する。

(4) 選手入場からキックオフまでの流れ

試合開始3分前に選手が入場を開始する。タッチラインとセンタースポットの中間位置で横一列に整列し、本部、ベンチ及び観客に一礼後、選手同士が握手をする(審判員とは握手はしない)。その後、キャプテンのみが残リトスを行う(この際に審判員とキャプテンが握手を行う)。握手終了からキックオフまでの間、ピッチ上でのボールの使用を認める(1～2分)。

(5) 試合中の交代選手のW-upについて

本部担当者が指定した場所で行い、原則としてボールの使用は認めない。競技中の選手と判別しやすいようにビブス等を着用する。また、W-upをしていない選手はベンチに着席する。

(6) 飲水タイムについて

飲水タイムを設ける場合(マネージャーズミーティング時に決定する)には、審判の指示により、前半又は後半の中間に飲水を行う。その際は、選手はピッチから出ることなく、ピッチ上で飲水する。また、監督やコーチは選手に対してゲームに関する指示をすることができない。

(7) ハーフタイムについて

ハーフタイムの時間は、前半終了の笛から後半開始の笛までが10分間とする(後半開始1分前になったら主審が合図の笛を吹く)。

(8) タイムアップから選手退場までの流れ

試合終了の笛の後、選手はセンターサークル付近に横一列に整列し、本部、ベンチ及び観客に一礼する。その後、選手同士及び選手審判員間で握手をし、選手は退場となる(向かい合っでの挨拶はしない)。

また、選手は退場する際に、相手ベンチと本部に挨拶をすることが望ましい。両チームの監督同士も本部前付近で握手することが望ましい。

4. 試合後の運営について

(1) 試合関係書類の記入について

試合終了後、本部担当者は、『試合結果報告書』、『重要事項報告書』及び『審判代領収書』を作成する。

『試合結果報告書』は、大会結果集計に使用するため、必要事項は確実に記載する。特に試合結果と退場及び警告を受けた選手の確認をする。両チームの代表者もしくは監督に署名をもらう。

『重要事項報告書』は、一発退場の選手がいた場合のみ記入する。この際に、理由等を主審に確認する。

(2) 本部書類について

各クラブが作成し保持する。

(3) 試合結果の報告について

最終試合終了後、本部担当者は、その日の19時までに結果集計者にメールで試合結果送信票を送信する。この際の結果とは、①対戦結果(前半・後半の経過を含む)、②退場・警告選手及びその理由(例：反スポ、ラフ等)のことを言う。

報告先：佐野日本大学中等教育学校 海老沼 秀樹

Mail: ebihide0805@yahoo.co.jp

5. 会場の片付けについて

(1) グラウンドの片付け

最終試合の両チームがグラウンド整備、ゴール移動、ゴールネット片付け等を行う。

(2) 本部の片付け

本部担当者及び最終試合の両チームが、本部備品(テント、机、椅子)の片付けを行う。

(3) 会場の見回り

本部担当者及び最終試合の両チームは、グラウンドや施設のゴミの確認や破損箇所が無いか確認する。